

「全国みどりと花のフェアかつしか」基本計画概要版

第1章 全体概要

基本計画 P7～

国、東京都等の関係自治体、地域住民及び事業者等との連携・協働により、葛飾区が初めての開催となる新たな緑花イベント「全国みどりと花のフェアかつしか」（以下「本フェア」という。）を令和8(2026)年度に開催します。

あわせて、本フェアの開催期間中に、毎年、全国の自治体を巡って開催している『全国「みどりの愛護」のつどい』を葛飾にいじゅくみらい公園及び隣接する東京理科大学の施設において開催します。

開催テーマ 未来に向け成長する みどりと花のまち かつしか

第2章 葛飾区の現況

基本計画 P8～

花いっぱいのまちづくり活動と本フェアの取組の方向性

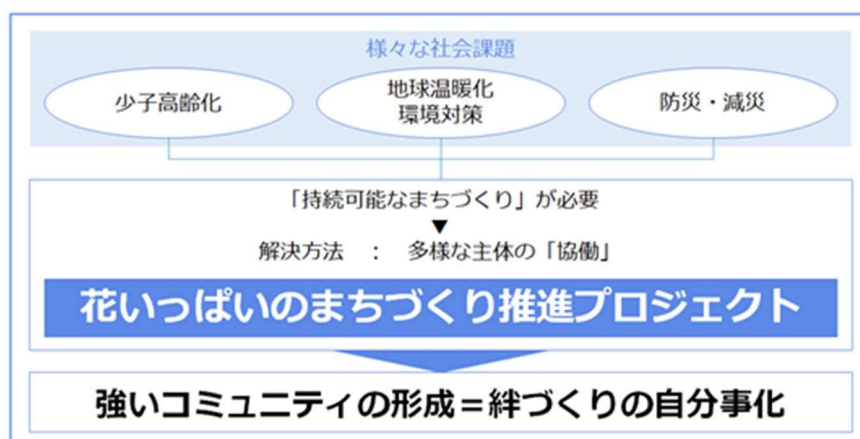
まちにみどりと花を増やすことは、憩いや安らぎに加え、環境意識の向上、対話や交流の促進にもなり、持続可能なまちづくりにつながることから、葛飾区は、まちをみどりと花で彩る「花いっぱいのまちづくり推進プロジェクト」を通じて、みどりと花をきっかけに人と人とのつながりを強化しています。



今後は、花いっぱいのまちづくり活動の担い手の裾野を広げるため、フラワーイベントの開催等の各団体への活動支援に加え、個人や家庭への支援を拡充するとともに、他自治体と交流・連携することで、花いっぱいのまちづくり活動のさらなる活性化にも取り組んでいきます。

また、引き続き緑化を推進し、身近な緑の保全や緑化計画の届出、緑化に対する支援を行い、みどりと花を身近に感じられるまちをつくることを目指しながら、花いっぱいのまちづくり活動の拡大・支援の充実や、区内外における「フラワーメリーゴーランド」の設置拡大を図ります。

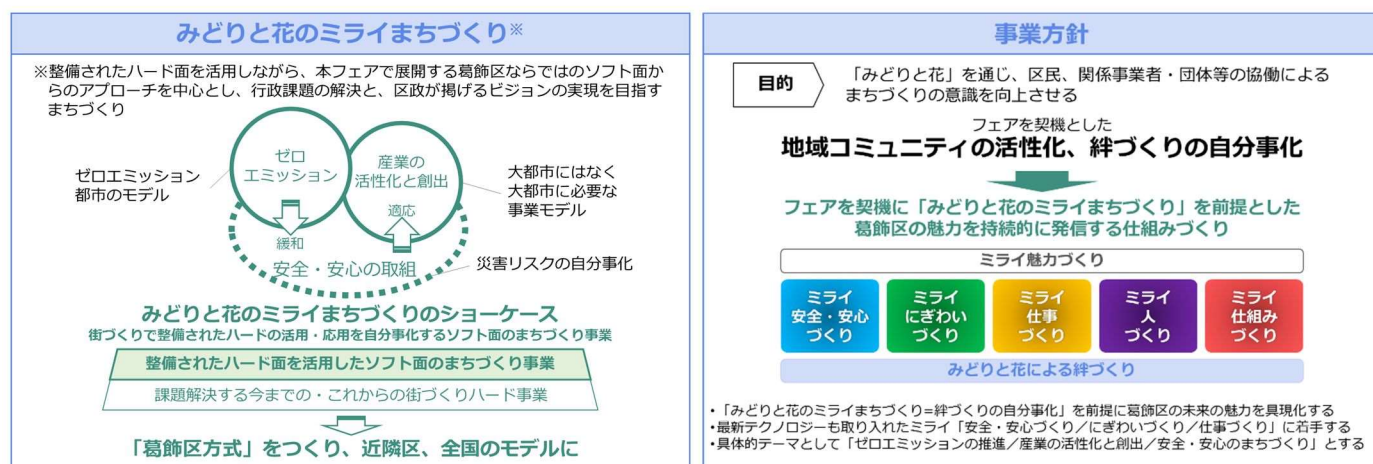
本フェアを開催するに当たっては、葛飾区ならではの地域資源を活かした取組を通じて生まれる強いコミュニティ形成や絆づくりの自分事化を行い、様々な社会課題の解決を目指します。



「みどりと花のミライまちづくり」

葛飾区は、基本構想、基本計画及び中期実施計画や各種計画の推進により、区が掲げる将来像「みんなでつくる、水と緑と人情が輝く 暮らしやすいまち・葛飾」の実現に向けて、着実に進展しています。本フェアでは、葛飾区のよりよい未来に向けて、「みどりと花」を通じた地域コミュニティの活性化や絆づくりの自分事化を行うため、ソフト面からのアプローチ方法を様々な角度から検討し、実証していきます。

本フェアで展開するソフト面からのアプローチを中心としたまちづくりを「みどりと花のミライまちづくり」と表すこととし、本フェアの事業方針と位置付けます。



開催会場

開催会場は特定の施設に限定するのではなく、区民との協働によるオールかつしかの開催を目指します。葛飾区全体を5つのエリアに分け、「メインエリア」「こち亀エリア」「翼エリア」「寅さんエリア」「モンチッチエリア」の全てのエリアにおいて、みどりと花のプレゼンテーションやにぎわいづくり、区民参加の仕掛け等を設置します。また、区の花である花菖蒲を堪能できる堀切菖蒲園で、地元の方とともに来場者をおもてなしします。

開催期間

開催期間：令和8（2026）年5月16日（土）～6月14日（日）予定

『全国「みどりの愛護」のつどい』

上記開催期間中の1日については、毎年開催されている『全国「みどりの愛護」のつどい』を開催します。

メイン会場

メイン会場として、「葛飾にいじゅくみらい公園」を設定します。公園エントランス周辺は、メイン会場として本フェアを象徴するような花の装飾を施します。

サテライト会場

メインエリア以外のエリアでは、「サテライト会場」を設置し、「メイン会場」と「各サテライト会場」を連携させ、周遊を促し、集客及び各エリアで行う行催事を波及させます。

まちなか花いっぱいプレイス

「花いっぱいのもちづくり推進プロジェクト」で展開する、区内全域に点在する花壇を中心に、来場者をおもてなしします。

また、区内にある花の名所を取り上げ、来場者に区内にある花の魅力に触れてもらいます。

【会場全体マップ】



堀切菖蒲園

フェア来場者が、区の花である花菖蒲の
魅力に触れられるよう、本地域への回遊性
を高めていきます。

第6章

出展展示計画

主催者展示と協働展示により最新の取組や活動のショーケースを設置します。

主催者展示・協働展示のイメージ

主催者展示	「花いっぱいのまちづくり推進プロジェクト」の活動展示
協働展示	最新テクノロジーのショーケース

【主催者展示の写真】



【最新テクノロジーのショーケース例】

- ・フラワーメリーゴーランドへの情報発信等の新機能搭載
- ・最新テクノロジーを活用した新たな情報共有の仕組みづくり
- ・オフグリッドの新技術を活用したライトアップ実験

ステージイベントや各行催事により、みどりと花を中心とする葛飾区の魅力等を伝えます。

主催者行事

主催者行事 1	全国「みどりの愛護」のつどい
主催者行事 2	オープニング&クロージングセレモニー
主催者行事 3	プレイベント



【2のイメージ図】

区民参加型の催事

(1) 区内回遊型プログラム（取組イメージ）

軒先園芸コンテスト	区民参加による、建物の軒先を活用した園芸コンテストを開催し、協働参画意識の醸成と回遊促進につなげます。
-----------	---

(2) ワークショップ型プログラム（取組イメージ）

みどりと花の育成セミナー	品種ごとの育て方や、寄せ植え、ハンギングバスケット製作等の講習会や各種セミナーを開催します。
--------------	--

(3) 企業連携型プログラム（取組イメージ）

中小企業連携企画	区内の中小企業と連携し、フラワーメリーゴーランド等を活用した各企業のPRやプロモーションの機会設定を検討します。
----------	--

(4) 文化・教育プログラム（取組イメージ）

花菖蒲に関するイベント	フェア開催期間中に葛飾菖蒲まつりが開催されることから、区の花でもある花菖蒲について学べる機会を設けます。
-------------	--

(5) 参加体験型プログラム（取組イメージ）

みんなでつくるフラワーキャンバス	区民との協働でつくりあげ展示するフラワーキャンバスを展開し、協働参画意識を醸成します。
------------------	---

(6) キャラクター関連イベント（取組イメージ）

公園や河川敷でのキャラクター花壇アート	公園や河川敷を活用し、キャラクターを描く大きな花壇アートを制作・展示します。
---------------------	--

(7) 公用地中心プログラム（取組イメージ）

かわまちづくりとの連携	河川空間を活用したオープンカフェやキッチンカーの出店等を検討します。
-------------	------------------------------------

(8) マルシェ型プログラム（取組イメージ）

みどりと花のマルシェ開催	花や多肉植物、園芸雑貨等の販売に加え、ワークショップも行う「みどりと花のマルシェ」を開催します。
--------------	--

葛飾区全域を会場とする大型イベントであることを強く意識し、関係機関と連携しながら、会場運営計画の策定や様々な来場者が快適に過ごせるような会場運営を目指します。

運営体制

多様な主体による運営

様々なボランティアが参加できる会場運営の基本体制を計画します。各種ボランティアと一体となって、区民、及び同じ思いを持つ区外の一般市民も組織内で活動できる仕組みづくりを行います。

環境に配慮した運営

既存の施設によるインフラを活用することを基本としつつ、資源循環・再利用を検討する等、環境負荷低減に配慮した会場運営計画を策定します。また、グリーンインフラを積極的に活用した持続可能な葛飾区のまちづくりに貢献していきます。

会場管理・リスクマネジメント

消防・警察・関係各所と緊密な連携を図り、犯罪、事故等をはじめとする多様なリスクを想定した警備体制や会場運営計画を構築します。

警備計画

警視庁及び関係機関と緊密に連携をとり、警備・警護にあたります。

消防・防災計画

消防及び関係機関と連携し、火災や大規模地震、台風等、様々な災害を想定し来場者を安全に避難・誘導する避難計画を作成します。

医療・救急・衛生計画

近隣の医療施設と連携し、円滑な救急搬送や傷病者対応ができるよう計画します。

清掃・リサイクル計画

速やかに清掃・撤去を行えるスタッフ体制を構築し、「3R」による環境に十分配慮した計画を策定します。また、会場内の美化と葛飾区が掲げる「ゼロエMISSIONの推進」の理解促進を図るため、環境意識高揚のための啓発活動を行います。

第9章 広報宣伝計画

開催テーマや開催目的の理解促進を図り、本フェアへの出展や協力、来場を促します。

コミュニケーションツール

公式ロゴマークの制作

本フェアのシンボルとして開催テーマに則したデザインで制作します。

公式マスコットの制作

本フェアの認知と好感度を獲得し、本フェア終了後も「花いっぱい」のまちづくり推進プロジェクトのシンボルキャラクターとして活用することで、レガシー化を目指します。

公式アンバサダーの 検討

本フェアの魅力を広く発信していく役割を担う公式アンバサダーを任命します。

第10章 調達計画

基本計画 P52～

区内事業者や関連施設等と連携し、資材や設備、特に植物を計画的に調達します。

植物調達計画

花苗の育成・収穫

本フェアの開催期間に照準を合わせた各種花き類の開花に向け、関係機関と連携した綿密な花苗育成計画を策定します。

その他主な調達ルート

市場や近郊生産者からの調達ルートを中心に、必要となる植物の効率的で安定した調達を目指します。

第11章 交通輸送計画

基本計画 P56～

公共交通機関の利用を前提に、会場への安全・安心なアクセスルートを整備します。

交通サービスの検討

都市型イベントとしての 対応

本フェア来場予定者に対して公共交通機関利用の呼びかけを行います。また、地域の交通事情や様々な方が来場することを踏まえ、必要に応じて交通機関の増便や臨時バス停、臨時駐車場の設置、パークアンドライドの導入、シャトルバスの運行等を検討します。

会場へのアクセス計画

各会場の最寄り駅から、メイン会場及びサテライト会場へのスムーズなアクセス計画を策定します。

第12章 協働推進計画

基本計画 P58～

「協働推進プロジェクト」に基づき、フェア閉会後を見据えた、各種活動の基盤を構築します。

活動基盤の構築

花のお手入れの 仕組みづくり

区民をはじめ様々な主体の参加を促し、花のお手入れの仕組みを計画します。花を通して参加者間の絆づくりを図るとともに、育んでいく花の知識を紹介・共有していくことで、「みどりと花のまち かつしか」らしい、学びの機会も創出します。

ICT を利用した コミュニティ運営

スケジュールやタスクの管理をはじめ、活動の際の意見や課題についても共有できる質の高いコミュニケーション環境を構築していきます。

区民、事業者、関係団体と協働し、葛飾区内の特産物・特産品の認知拡大を目指します。

飲食・物販における取組展開

安全・安心に向けた取組	保健所や消防等の関係団体と調整し、出店に伴う食品衛生管理や防火管理に関する計画を策定します。
地産地消に向けた取組	販売する飲食物や飲食メニューを選定・検討する際には、地産地消のために、葛飾産の野菜や加工品を使うことを目指します。
環境に配慮した取組	ゼロ・ウェイスト※の理念のもと、そもそもごみを出さないことを目指します。

※：ゼロ・ウェイスト

「ウェイスト (waste)」は英語で「無駄」や「浪費」を意味する言葉であり、「ゼロ・ウェイスト」は、無駄や浪費をなくしてごみを出さないことを意味する

環境省 HP より引用

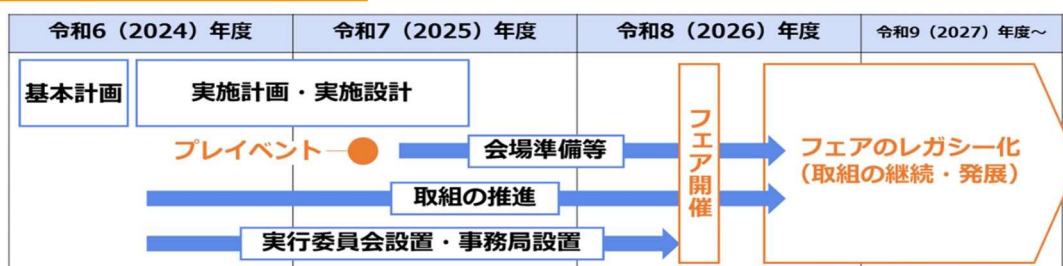
https://www.env.go.jp/policy/kihon_keikaku/goodlifeaward/report201801-zero-waste.html

本フェア全体の事業推進を統括・管理する準備組織である「実行委員会」と、それを支援する「事務局」を設置します。

事業推進体制の構築

実行委員会の設置	実行委員会は、葛飾区民、有識者、関係団体等で構成され、委員会による会議は、事業推進スケジュールに基づき、定期的に行われます。
事務局の設置	事務局は、本フェアの開催に向けた各種活動を行う人員で構成され、本フェアの準備・運営に当たり、関係各所との個別協議・連携、事務処理等を行うため常時設置し、実行委員会をサポートする役割を担います。

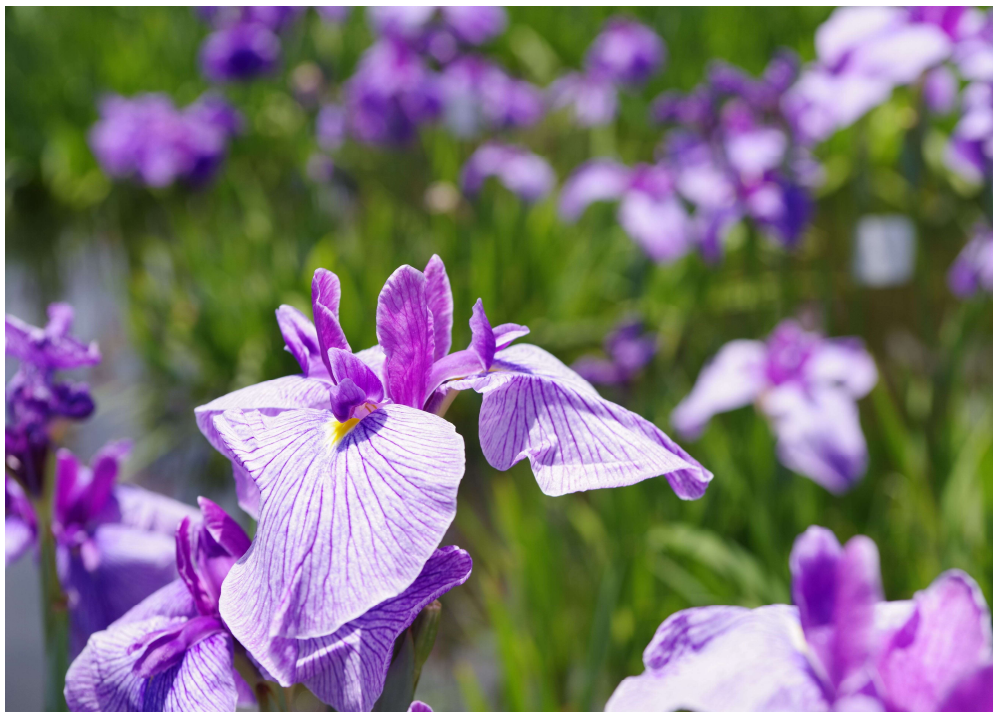
スケジュール（案）



開催テーマである「未来に向け成長する みどりと花のまち かつしか」のもとで、本フェアが地域価値向上にどの程度寄与したかの検証を本フェア閉会後に行います。効果検証を行う際には「協働」を意識し、来場者はもちろんのこと、本フェア開催にかかわった多様な関係団体を対象にすることで、開催、運営、来場等、多角的な視点での効果検証を目指します。

効果検証の手法と項目（案）

手法	項目
量的評価の把握	本フェア来場者数、行催事参加者数、飲食・物販の販売数、広報宣伝の接触者数 等
アンケート調査 -来場者調査	来場日、来場会場、来場行催事、滞在時間、本フェア認知経路、来場きっかけ、来場手段、行催事満足度、運営満足度、本フェア全体の満足度、葛飾区に対する愛着度向上への寄与度 等
アンケート調査 -運営者調査	行催事参加満足度、本フェア全体の満足度、葛飾区に対する愛着度向上への寄与度 等



▲詳細はこちら



葛飾区環境部環境課

住所：〒124-8555 東京都葛飾区立石 5-13-1

電話：03-3695-1111（代表）